学校番号	３０３２B

令和８年度　　福祉科

教科	福祉	科目	(学)福祉総合実習	単位数	2	年次	３年次
使用教科書	特になし						
副教材等	教科作成のプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

能勢町の福祉施設での実習を複数回行います。２年次の社会福祉基礎で学習してきた内容を踏まえ、実習や外部講師の方からの講演を通して、「福祉」について考えます。能勢町で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。この授業に関わる全ての方（施設の職員の方や利用者の方）に失礼のないように各自積極的に取り組んでください。また、社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事・ニュース等から興味や関心の幅を広げましょう。

2　学習の到達目標

・福祉施設での実習を通して、社会福祉に関する基礎的な技能を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割・基本知識を理解する
・人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を涵養する。
・学習内容や実習、その振り返り等を踏まえ、習得した知識や考えたことを活用し、社会の一員として自身の進路選択や今後の人生に生かすことできる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会のおける社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している。実習を通して、社会福祉に関する基礎的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動に対応することをめざしてその技術を適切に活用している	日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、実習の中で適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	地域の社会福祉に興味・関心を持ち、福祉社会に向けた課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コミュニケーションについて・地域の福祉施設	・実習におけるコミュニケーション方法について ・能勢町の福祉施設	a: 適切なコミュニケーションの方法について理解している。能勢町にどのような福祉施設があるか把握している b:実習に向けてのコミュニケーションについて思考を深め、適切な知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: コミュニケーションの手法、地域社会における福祉施設について興味・関心をもち、生活と福祉について探求しようとしている。	実習に関するレポート 定期考査	実習に関するレポート 定期考査	振り返りレポート 取り組み態度
	実習①に向けての準備・実習①	・実習①の計画と準備 ・実習①	a: 実習での注意点を踏まえて計画や準備を行っている。 b: 実習におけるコミュニケーション方法などの基本的な知識・技能を踏まえ、実習において職員の方や利用者の方と対話をしながらレクリエーションを行う工夫をしている。 c:福祉施設での利用者の方の関わりに関心をもち、実習に向けての計画や実習にも意欲的に参加している。	実習に関するレポート 定期考査	実習に関するレポート 定期考査	振り返りレポート 取り組み態度
後期	実習①の振り返り・実習②に向けて	・実習①の振り返り ・実習②の計画と準備	a: 実習①を振り返りつつ、実習②に向けて計画や準備を行っている。 b: 実習におけるコミュニケーション方法などの基本的な知識・技能を踏まえ、実習において職員の方や利用者の方と対話をしながらレクリエーションを行う工夫をしている。 c:福祉施設での利用者の方の関わ	実習に関するレポート	実習に関するレポート	振り返りレポート 取り組み態度

			りに関心をもち、実習に向けての計画や実習にも意欲的に参加している。			
	実習②・実習②の振り返り	・実習② ・実習②の振り返り	a: 実習①・②を振り返り、社会福祉についての理解を深めている。 b:実習におけるコミュニケーション方法などの基本的な知識・技能を踏まえ、実習において職員の方や利用者の方と対話をしながらレクリエーションを行う工夫をしている。 c:福祉施設での利用者の方の関わりに関心をもち、実習に向けての計画や実習にも意欲的に参加している。	実習に関するレポート 定期考査	実習に関するレポート 定期考査	振り返りレポート 取り組み態度